

ZUMFY Racing Family は19日、筑波サーキットで「NISSAN LEAF Champion Race」を開催する。「日産リーフ」のワンメーカーレースで募集台数は15台。企画・提案は優輝(高崎市島野町983-1、小野優子社長)が運営する電気自動車(EV)専門店「EVステーション」が行った。やはり同社が運営するレースサポートを手掛けるCOSMOSPEEDが協力する。一般社団法人日本電動自動車振興会など後援。

「NISSAN Leaf AF Champion Race」は6月

筑波で「日産リーフ」ワンメーカーレース EVステーションが企画

に続き2回目の開催。7周(14キ)のスプリントレースで募集台数は15台。参加費は2万円(税別)。予選は午前10時から決勝は午後6時から。また、走行会も行い募集台数は10台。参加費は6000円(税別)。午前10時30分から。来年以降も年間3〜4回のペースで定例化していく。

小野優子社長の話
EVの普及・促進に向けEVの今年6月に開かれたレースの様子



(東直樹)

魅力をアピールする場として開催する。EVは走行距離を考えてゆつくりと走るが実際には速いので、こうした機会に思い切り楽しんでほしい。